

平成20年6月17日

京情協 地域情報化委員会（20年度 第2回） 議事録

開催日時：平成20年6月17日（火） 17:00～18:15

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 本館1F インフォメーションルーム

参加者：和田、古川、相原、中井、福本、桧山、中川、桂田（敬称略）

配布資料：地域情報化委員会（第2回）議題、添付資料①～資料④

議事：

1. 新規加入委員の紹介（中川から報告）

- ・ テイジエール竹中氏が新規加入された。

2. 事業推進委員会からの報告事項（資料①～③）（中川から報告）

- ・ 事業推進委員会では、4委員会（経営、技術、広報、地域情報化）の進捗報告だけでなく、京情協全体の方向性やテーマを検討している。京情協としての動きを知った上で委員会活動を行う事が大切なため、今回より事業推進委員会からの報告を行うこととし、6/11の内容を以下の通り中川から報告した。

《事業推進委員会からの報告（資料①）》

(1) 副委員長就任：

- ・ 空席だった副委員長に KSR 小野氏が就任された。

(2)：法人化制度の変更に伴う移行に関する勉強会について（資料②）

- ・ 民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し、現行の公益法人制度における様々な問題に対処するための改革（法律施行）が平成20年12月1日付けでスタートする。
- ・ 現行の公益法人は全て法律上、一旦、「特例民法法人」となる。
- ・ 移行期間5年（平成25年11月30日まで）内に、公益社団法人／公益財団法人もしくは、一般社団法人／一般財団法人へ移行することになる。
- ・ 公益法人であっても、一般法人と比較し大きなメリットはなく、むしろ制約は大きい、社会的信用は高い。
- ・ すぐに移行するのではなく、周りの様子も見ながら申請すること。
- ・ 和田氏より、①移行にあたっては定款の変更が必要であること、②一般法人の認可を受けた後で公益法人の申請を行う案もある旨の補足説明がなされた。

(3)：理事会議事録のHP掲載について

- ・ 各委員会の議事録はHPで閲覧できるが、理事会議事録もHPに掲載する方向で理事会に諮ることになった。

(4)：OSC「基盤改革セミナー・京都」共催について（資料③）

- ・ OSC（オープンスタンダード・コンソーシアム）からのセミナー共催の依頼を受けることになった。
- ・ OSCは①オープンスタンダードの普及、②電子自治体構築・運営のためのコスト構造改革と、その実現のための③地域IT人材の育成強化による地域産業の振興を目指しており、25都道府県で同様のセミナーを開催している。
- ・ 協力内容としては、後援者の推薦、共催者挨拶（長谷川会長）、パネラーの選定（KCG 上

田氏で内定) など。

- ・日時は8月1日(セミナー:13:30～、交流会:17:15～)、場所は平安会館で確定。

(5):内規策定について

- ・委員会や理事会、OB会の運用内規を定めることになった。

3. 平成20年度活動計画について(資料④)(中川から報告)

- ・6/9の正副委員長会の議事録をもとに、今期活動案を以下の通り報告した。
- ・活動内容が確定していない項目については、当委員会の結果を踏まえ、次回委員会までに担当やスケジュールを決める。担当になった際にはぜひ協力をお願いしたい。
- ・また、アイデア・要望などがあればぜひ教えて欲しい旨の依頼が中川よりなされた。

(1)活動内容が確定している項目:

【ある程度の活動が見込まれるもの】

- (1) 賀詞交歓の新春セミナー(8月に講師・テーマを検討。前回は和田氏から提案)
- (2) 京都自律移動支援プロジェクト実行委員会(委員会及び実証実験への参加)
- (3) ITコンソーシアム京都との連携(4部会に責任者が出席し、会員へ活動内容を広報)
⇒ITコンソーシアム京都や京都府、京都産業21との情報交換を地域情報化委員会で積極的に行ってはどうかとの意見が和田氏よりなされた。まずは事業推進委員会にて検討すべきとの話になったが、何か協力できる事が行いう事とする。
- (4) 会員企業への情報発信(採用耳より情報。今期も定期的に発信する)

【あまり活動が見込めないもの】

- (1) 他府県の情報産業団体との連携、情報収集
⇒ANIAではブロック毎に交流を深めようとしているとの情報を和田氏から得た。
- (2) 京都産業21との連携

(2)活動内容が確定していない項目:

①大学との連携

- ・昨年の結果を踏まえ、何らかの活動を行っていきたいが、活動内容は要検討。
- ・案として下記案が出ている。
 - ・大学の業界研究への参加/協力を試験的に試してみる
 - ・就職課ではなく、直接、先生にヒアリング、先では情報交換を行う(各企業の特徴を一覧で判りやすく伝えたり、企業が求める人材や学生の傾向などを直接やりとりすることなどを最初の切り口にする) ⇒ それだけの材料で訪問するには弱い?
- ・現在は売り手市場のため、大学に働きかけても反応を期待する事が難しい状況だが、すぐに活動の切り口が見つからなくても、何らかの形で活動を継続していきたい。

②人材確保・定着・育成

【会員企業向けセミナー】

- ・新卒採用支援セミナーは今期も行う。2回分の予算(5万円×2回)を取っている。最低1回は前期同様、マイコミ殿による新卒採用支援セミナーを行う予定。可能ならば、2回うち1回は社員教育のリテンション対策に関するセミナーを実施したい。講師は

KVBC 副理事であるパシオ殿に相談予定。もしリテンション対策のセミナー実施が難しいならば、新卒採用支援セミナーを2回実施することとする。

【KVBCとの共催による新卒者向け合同企業説明会】

- ・KVBC 人材ネットワークでは今期3回の合同企業説明会を計画している。1回目の5/15に実施された学情（就職博）では、集客効果を狙って訪問社数が3社以上の場合はQUOカード1000円を渡した結果、ブース訪問者数は増えたが、自社セミナーエントリーにはなかなか結びつかなかった。今期は見送る方が良いのではないかな？

【雇用・能力開発機構との連携】

- ・補助金の活用や中途採用に関する活動の中で、雇用・能力開発機構と連携を図れないかとの案があった。一度訪問しても良いが、連携にまでは至らないのではないかな？

③他の委員会との連携

- ・こういった形で連携を行っていくか検討要。

④他の団体との連携

- ・上記②のセミナーでリテンション対策を取り上げるならば、パシオ殿と連携することになる。
- ・人材ネットワーク（合同企業説明会）については、見送りの方向で検討中。
- ・集客交流研究会は、ITとの連携に関して具体的な話がまだ見えていない。暫く様子見。

⑤その他

- ・低年齢層コンテストの実施については、現時点では実現が難しい。
- ・助成金の活用については、調査程度ならば実施可能。
- ・KCG 殿主催の高校生向けのセミナーへの協力については、その後KCG 殿から打診なし。
- ・外向きへの発信・活動については、一番行いたい事だが、どんな活動が出来るのか検討を重ねる必要あり。
- ・最近、エコに関する意識が高まり、「環境」に関する考え方が急激に変わってきている。ビジネスチャンスとして捉え、エコをキーワードに例えばITと環境保全に関する何らかの活動・勉強会などが出来ないかとの案もある。

以上